

平成28年度試験研究課題体系表

平成28年9月

農業総合試験場

目 次

1	組織	1
2	試験研究事項	2
	作物部門	2
	野菜部門	4
	花き部門	6
	果樹部門	8
	畜産部門	10
	茶業部門	12
	環境基盤部門	13
	企画経営部門	17

(凡例)

【共同研究・委託元】

下線は研究グループ(コンソーシアム)の代表を表す

【事業分類】

補助	: 国庫補助事業		
交付金	: 国庫交付金事業	農防費(県)	: 農地防災事業費
受託	: 競争的資金等の受託研究	土諸費(県)	: 土地改良諸費
特性検定	: 受託のうち特性検定	土改費(県)	: 土地改良事業費
共同(I)	: 各機関が研究費を負担して実施する共同研究	畜振費(県)	: 畜産振興費
		農改費(県)	: 農業改良普及費
共同(II)	: 一部資金を受入れて実施する共同研究		
協定	: 大学との研究協力協定に基づく研究		
戦略	: 戦略的重要研究		

農 業 綜 合 試 験 場

1. 組織

場長			
副場長			
(部所名)	(課・室名)	(部所名)	(課・室名)
管理部	管理課・会計課	畜産研究部	養牛研究室
	会計課		養豚研究室
企画普及部	企画調整室		養鶏研究室
	経営情報研究室		畜産環境研究室
	広域指導室	野菜研究室	
環境基盤研究部	生物学研究室	東三河農業研究所	花き研究室
	農村工学研究室		茶業研究室
	環境安全研究室	山間農業研究所	稲作研究室
	病虫害防除室		園芸研究室
	病虫害研究室		
作物研究部	作物研究室		
	水田利用研究室		
園芸研究部	野菜研究室		
	次世代施設野菜研究室		
	花き研究室		
	落葉果樹研究室		
	常緑果樹研究室		

2 試験研究事項

【作物部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
気候変動に対応し、高品質安定生産を実現する作物生産支援システムの構築	環境に配慮した主要農作物生産支援技術の構築	28園芸農産課・西三河農政	26	30	作物		
難裂莢性大豆と早播き・摘心栽培を組み合わせた安定栽培技術の開発	播種時期と摘心を組み合わせた安定栽培技術の開発	28西三河普及・経済連	26	30	作物・水田利用	農研機構(次作)	受託(委託プロ)
大豆多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発	多収阻害要因実態調査	28経済連	27	31	作物・環境安全・水田利用・広域指導	農研機構(中)	受託(委託プロ)
	有機物施用等による改善技術の開発	28経済連	27	31	環境安全・作物・水田利用		
環境に配慮した水田輪作技術の開発	輪作田における水稲・小麦・大豆の低投入・高位安定栽培技術の開発		28	32	水田利用・作物		
土地利用型作物における高品質・高収量生産体系の確立	水稲・小麦・大豆の高品質・高収量化技術の確立		28	32	水田利用・作物		

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
土地利用型作物における高品質・高収量生産体系の確立(再掲)	水稲・小麦・大豆の高品質・高収量化技術の確立(再掲)	28西三河普及・経済連	28	32	水田利用・作物		

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
環境に配慮した栽培管理技術の確立	環境に配慮した作物栽培管理技術の確立	28園芸農産課	28	32	作物		
気候変動に対応し、高品質安定生産を実現する作物生産支援システムの構築(再掲)	環境に配慮した主要農作物生産支援技術の構築(再掲)	28経済連	26	30	作物		
植物生育調節剤の研究開発事業	グリホサート抵抗性ネズミムギの除草法の検討	27西三河普及	28	28	作物	日植調	

(エ) 研究事項 次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
ICTを活用したほ場管理技術の開発	ほ場面2方向傾斜化による転換畑大豆の生産性向上・安定化技術の開発		28	28	作物	農研機構(農工)	受託(革新(地域戦略プロ))

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	28尾張普及	28	28	病害虫防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	県植防	特性調査

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(ア) 研究事項 競争力の高い水田農業を確立する水稻・小麦品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
主要農作物の優良品種の育成・選定	気候変動に対し抵抗性を持つ品種の育成	28中央会	28	32	作物		
	病害虫抵抗性品種の育成	28経済連	28	32	作物		
主要農作物奨励品種決定調査	奨励品種決定調査	21, 23, 24経済連、22知多農政・普及、16, 22西三河普及、25尾張普及稲沢、26, 27, 28中央会	28	28	作物・稲作		
ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発	DNAマーカー選抜による早生遺伝子を導入したあいちのかおりSBL準同質遺伝子系統の早期育成		25	29	作物	生資研	受託(委託プロ)
耐病虫性水稻品種・育種素材の開発	斑点米カメムシによる被害を軽減できる育種素材の開発		27	31	作物・稲作・生物学	農研機構(次作)	受託(委託プロ)
作物出願品種栽培試験事業	品種登録出願品種の特性調査		28	28	作物	種苗管理センター	特性調査
水稻特性検定試験	いもち耐病性検定		28	28	稲作	農研機構(次作)	特性調査
中食用水稻早生品種の開発	中食用水稻早生品種の育成		27	31	作物・生物学	JAあいち経済連	共同(II型)
	栽培法の確立と現地実証		30	31	作物		
	炊飯・加工適性評価		30	31	作物		
野生稲IL(イントログレッションライン)を用いた耐病性等の有用形質探索に関する研究	新規遺伝資源を活用した耐病性、耐暑性系統の育成		27	29	作物	ステイググリーン(株)・名古屋大学	共同(I型)
DNAマーカー開発による耐湿性等に優れたコムギ品種の育成	耐湿性コムギ系統の育成		27	28	作物	トヨタ自動車(株)FP部・ホクレン	共同(I型)
三河中山間地域における良質米安定生産技術の開発	いもち抵抗性良質水稻品種の育成	28経済連	26	30	稲作		
	アフリカイネ品種の耐冷性の評価		27	30	稲作	名古屋大学	協定
	穂いもち抵抗性強化に関与する遺伝要因の解明とそれを利用した育種素材の開発		28	32	稲作	農研機構(中)・神戸大学	共同(I型)
イネの低コスト化・省力化・環境負荷低減に資する有用遺伝子の同定とDNAマーカーの開発	中部22号およびNERICA品種等いもち病抵抗性遺伝子のマッピングとマーカーの開発		25	29	稲作	東京大学	受託(委託プロ)
アミロペクチン短鎖化でおいしさが持続する画期的な業務・加工向け多収水稻品種の開発	アミロペクチン短鎖化水稻品種の開発		26	30	稲作	農研機構(次作)、(北)、名古屋大学、福岡農林試、ローソン(株)、敷島製パン(株)、関谷醸造(株)、あいち経済連	受託(農食研究)(中核・愛知農総試)
	栽培特性評価		26	30	稲作、作物		
	現地実証と栽培マニュアル作成		28	30	稲作、作物、広域指導		
原種生産事業	奨励品種原種栽培		28	28	作物・稲作		
	稲・麦・大豆奨励品種原種生産		28	28	水田利用		

【野菜部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
特産施設野菜の生産性及び品質向上技術の確立	アオジソの夏期需要期の安定生産のためのヒートポンプ利用技術の開発	27東三河普及・経済連	28	32	野菜(東)		
	アオジソの冬期需要期の安定生産のための環境制御技術の開発	28東三河普及・田原普及・経済連	28	32	野菜(東)		
	ミニトマトの養液管理による品質向上技術の開発	27東三河普及・経済連	28	32	野菜(東)		
需要に対応した露地野菜の安定生産技術の開発	キャベツ等露地野菜の長期安定生産技術の開発	27東三河普及	28	32	野菜(東)		
	ブロッコリーの冬期安定生産技術の開発	26東三河普及・経済連、27経済連、28尾張普及	28	32	野菜(東)		
4-5月どり寒玉系キャベツ品種及び栽培技術の開発	東海地域における春どり寒玉系キャベツの評価及び安定生産技術の開発		26	30	野菜(東)	農研機構(野花)	受託(委託プロ)

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
園芸作物の安定生産に向けた肥料の開発と施肥技術の確立	4-6月収穫キャベツ体系における施肥管理技術の確立	27東三河普及、28田原普及	26	28	野菜(東)	JAあいち経済連	共同(II型)

(エ) 研究事項 ICTなど次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
水耕葉菜類における冬期の環境制御、LEDを活用した増収技術の開発	水耕葉菜類のLED等による生育促進技術の確立	26海部普及	26	28	次世代		戦略
環境制御による施設野菜の高収益生産技術の開発	環境制御下における施設トマト・ナス・イチゴの栽培管理技術の開発	24・27経済連・東三河普及、26田原普及、28尾張普及・東三河普及	27	30	次世代・野菜(東)	経済連・トヨハシ種苗(株)	共同(II型)
生体情報との結合による高度環境制御技術の開発	施設果菜における環境及び生育制御技術を用いた高能率・高付加価値栽培指針の作成		28	32	次世代		
	水耕栽培における環境及び生育制御技術を用いた高能率・高付加価値栽培指針の作成		28	32	次世代		
統合オミクス情報を利用したトマトの体系的最適管理技術の開発	トマト尻腐れ果・裂果発生要因の解明と対策技術の開発		26	30	次世代	農研機構(野花)、岡山、三重	受託(戦略的イノベーション創造プログラム)
ICTおよびRTによる栽培管理高度化技術の開発	生育情報と環境情報を組み合わせた施設野菜の環境制御ナビゲーションシステムの開発		28	32	次世代	豊橋技科大、IT工房Z	受託(JST_CREST(予定))

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	24, 25中央会、26, 27尾張普及	28	28	病害虫防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	県植防	特性調査

ウ 重点研究目標 環境に調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
園芸作物の安定生産に向けた肥料の開発と施肥技術の確立(再掲)	リン酸が蓄積した施設野菜栽培圃場に適した全量基肥栽培技術の開発	27海部普及	24	29	野菜(園)	JAあいち経済連	共同(II型)

(ウ) 研究事項 中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
中山間地に適した施設園芸の高収生産技術の開発	夏秋トマトにおける高品質・多収栽培法の開発	27新城設案普及	27	31	園芸		
中山間地に適した露地園芸の高収生産技術の開発	ジネンジョにおける省力的高品質栽培法の開発	27新城設案普及	27	31	園芸		
	地域特産野菜の栽培技術の開発		27	31	園芸		

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(イ) 研究事項 全国屈指の施設野菜産地を活性化する品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
施設野菜における新品種の育成	漬物加工特性を持つナス品種の育成	23東三河普及、24西三河普及、25、26、27尾張普及	28	28	野菜(園)・生物学		
	短節間性を持つトマト単為結果性品種の育成		26	28	野菜(園)		
	低温着果性・低温肥大性を有する単為結果性トマト品種の育成		26	28	野菜(園)		
	高温期で着果性に優れ、複合病害抵抗性を持つトマト品種の育成	26尾張普及	25	28	野菜(園)		
施設野菜の多収栽培技術の確立	新品種を利用した生産技術の確立	20西三河普及、23豊田加茂普及	26	30	野菜(園)		
新規に開発するDNAマーカーと感染性クローンによるTYLCV簡易接種法を利用した複合抵抗性トマト系統の開発	感染性クローンを利用したTYLCV簡易接種法による抵抗性の評価	25、26、27中央会、27尾張普及、28東三河普及	28	30	生物学・野菜(園)		戦略
	新規病害抵抗性DNAマーカーの開発	25、26、27中央会、27尾張普及、28東三河普及	28	30	生物学		戦略
	新規開発技術を利用した複合病害抵抗性を持つ単為結果性トマト系統の開発	25、26、27中央会、27尾張普及、28東三河普及	28	30	野菜(園)・生物学		戦略
大果多収性で炭そ病抵抗性を備えたイチゴ促成栽培用品種の開発	素材品種・系統間の交雑、大果多収性・早生性及び炭疽病抵抗性による選抜、有望系統の現地適応性試験及び市場性調査	26稲沢駐在、豊田加茂普及・東三河普及・中央会	27	30	野菜(園)	JAあいち経済連	共同(I型)
シンソ斑点病抵抗性を保有し、低温期の品質が優れるアオジソ品種の育成	シンソ斑点病抵抗性による選抜、新品種に適した栽培技術の確立	21東三河普及・田原普及、23、24経済連	27	29	野菜(園)	JAあいち経済連	共同(I型)
海外植物遺伝資源(ナス・キュウリ)の遺伝特性解析・収集	キュウリ遺伝資源の特性評価		26	30	野菜(園)	農研機構(遺伝)	受託(委託プロ)
	ナス遺伝資源の半枯病抵抗性評価と種子増殖		26	30	野菜(園)	農研機構(遺伝)	受託(委託プロ)
育成系統評価試験	新規育成系統の特性及び系統適応性検定		28	28	野菜(園)・野菜(東)	農研機構(野花)	特性調査
園芸種苗基核苗生産事業	イチゴ無病苗増殖		28	28	野菜(園)		
	フキ無病苗増殖		28	28	野菜(園)		
	ジネンジョの無病苗増殖		28	28	園芸		

【花き部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの高生産・高品質技術の開発	カーネーションの施肥等栽培方法の改善による高生産技術の開発	28田原普及	28	32	花き(園)		
	クルクマの施肥管理や被覆資材の選定など栽培環境の改善による安定生産技術の開発	28西三河普及	28	32	花き(園)		
	洋らん類の日持ち性向上による高品質化及び栽培条件の改善による出荷期拡大技術の開発	28東三河普及	28	32	花き(園)		
園芸作物の安定生産に向けた肥料の開発と施肥技術の確立(再掲)	カーネーションの下葉枯れ症状や節折れ症状改善に向けた施肥管理技術の確立		28	29	花き(園)		共同(II型)
	肥効調節型肥料の溶出モデルの作成及び基肥に適した肥料の開発		28	29	経済連		
冬季におけるキクの生産性向上技術の開発	LED利用による生産性向上技術の開発	28東三河普及・田原普及・経済連	28	30	花き(東)		
	冬季の生産性を向上する温度管理技術の開発	28東三河普及	28	30	花き(東)		
冬季キク栽培における効率的CO ₂ 施用技術の開発	最適なCO ₂ 施用技術の開発	26尾張普及稲沢・田原普及・経済連、28経済連	26	28	花き(東)	イノチオホールディングス(株)	共同(II型)
	適応品種の解明と施用方法の開発		26	28	花き(東)	イノチオホールディングス(株)	共同(II型)
きく類生産・流通イノベーションによる国産シェア奪還	国際化に対応した輪ギク生産・流通実証	-	H28	H30	花き(東)、広域指導	農研機構(野花)、東三河農林水産事務所、JAあいち経済連他	受託(革新(地域戦略プロ))

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの低コスト生産技術の開発	低温で栽培特性を持つ鉢物品目の選定と生産安定技術の開発		28	32	花き(園)		
	本県特産洋花の変温管理による省エネ栽培技術の開発		28	32	花き(園)		
地域未利用資源等を活用した低価格な鉢物用土の開発	各資材を利用した鉢物用土の開発		28	28	花き(園)	大有コンクリート工業(株)	受託(あいち中小企業応援ファンド)

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの高度環境制御システムの開発	鉢物類の冷房技術を組み合わせた夏季高温対策技術の確立		28	32	花き(園)		
実需ニーズの高い新系統及び低コスト栽培技術の開発	低コスト高温対策+ゼロ濃度差CO ₂ 施用に適したバラ栽植方式の開発		27	31	花き(園)	豊橋技科大、岐阜、トヨハン種苗・農研機構(野花)	受託(委託プロ)
	コチョウランの低コスト高温対策技術の開発		27	31	花き(園)		
	バラ、コチョウランの現地実証研究		27	31	花き(園)、広域指導		
夏季安定生産に対応できるキクの新品種・生産技術の開発	ヒートポンプを活用した夏季品質向上技術の開発	28東三河普及	28	30	花き(東)		
キクの高品質生産・安定出荷技術の開発	育成系統の高品質・安定生産技術の確立	28東三河普及・田原普及	27	29	花き(東)		
	生理障害等の対策技術の開発	27田原普及	27	29	花き(東)		

(エ) 研究事項 次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
実需ニーズの高い新系統及び低コスト栽培技術の開発(再掲)	低コスト高温対策+ゼロ濃度差CO ₂ 施用に適したバラ栽植方式の開発(再掲)	28尾張普及、28東三河普及	27	31	花き(園)	豊橋技科大、岐阜、トヨハン種苗・農研機構(野花)	受託(委託プロ)
花きの高度環境制御システムの開発(再掲)	さらなる多収を目指したバラ生産技術の確立	27尾張普及、27西三河普及西尾駐在、27経済連	27	30	花き(園)		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究 開始年	研究 終了年	担当研究室	共同研究先・ 委託元	事業分類
花きの新需要を創出する技術の開発	日持ち性向上や新規性のある鉢物の導入による消費者ニーズにマッチした鉢物栽培技術の開発		28	32	花き(園)		
花き日持ち性向上対策実証	品質改善検討		28	28	花き(東)(園)、広域指導	農研機構(野花)、静岡他・日本花き生産協会	受託(国産花きイノベ)
キクの需要創出に向けた新規花形ギクの栽培技術の確立	新規花形ギクの切り花としての栽培技術の確立		28	30	花き(東)		戦略
	新規花形ギクの鉢物としての栽培技術の確立		28	30	花き(園)		戦略
	新規花形ギクの栽培技術の普及と流通や消費者への認知向上		28	30	経営情報・広域指導		戦略
施設園芸作物の収穫作業支援ロボットの研究開発	施設園芸作物の収穫作業支援ロボットの研究開発		28	30	花き(園)、花き(東)、広域指導	豊橋技科大、シンフォニアテクノロジー(株)	受託(知の拠点重点プロ)

(イ) 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究 開始年	研究 終了年	担当研究室	共同研究先・ 委託元	事業分類
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	25, 26, 27, 28中央会	28	28	病虫害防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	県植防	特性調査

ウ 重点研究目標 環境に調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(ウ) 研究事項 中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究 開始年	研究 終了年	担当研究室	共同研究先・ 委託元	事業分類
中山間地に適した露地園芸の高収益生産技術の開発(再掲)	小ギクの安定生産技術の開発	27新城設楽普及新城、28豊田加茂普及	27	31	園芸		
	地域在来花きにおける安定生産技術の開発	28新城設楽普及新城	27	31	園芸		
中山間地に適した施設園芸の高収益生産技術の開発(再掲)	中山間地に適した鉢花の新たな栽培技術の開発	27新城設楽普及新城	27	31	園芸		

エ 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(ウ) 研究事項 日本一の花き産地を支える品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究 開始年	研究 終了年	担当研究室	共同研究先・ 委託元	事業分類
花きの県オリジナル新品種の開発	カーネーションの新品種育成	20, 21, 23, 24, 26, 27, 28経済連	26	30	花き(園)		
	バラの新品種育成	20, 23, 24, 26, 27, 28経済連	26	30	花き(園)		
良日持ち性および萎凋細菌病抵抗性を有するカーネーション品種の開発	良日持ち性品種の開発		26	30	花き(園)	北海道、農研機構(野花)	受託(農食研究)
	萎凋細菌病抵抗性を有する品種の育成		26	30	花き(園)	長崎、北海道、農研機構(野花)	
低温伸長性・低温開花性を有するキク品種の開発	低温伸長性・低温開花性品種の育成	26経済連、27知多普及・豊田加茂普及・田原普及・経済連、28尾張普及稲沢・経済連・中央会	28	32	花き(東)		
夏季安定生産に対応できるキクの新品種・生産技術の開発(再掲)	耐暑性に優れたキク新品種の育成	28尾張普及稲沢・知多普及	28	32	花き(東)		
新規需要に対応できる品種・技術の開発	スプレーギクのオリジナル品種・技術の開発		28	32	花き(東)		
	輪ギクのオリジナル品種・技術の開発		28	32	花き(東)		
キク矮化病抵抗性を有するスプレーギク新品種の開発	交配による抵抗性新系統の作出		28	32	花き(東)	イノテック(株)	共同(II型)
	新系統の有用性評価及び選抜		28	32	花き(園)・生物工学・花き(東)	イノテック(株)	共同(II型)

【果樹部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営体の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
本県で導入を推奨するブドウ・ナシ・モモ品種の選定とその栽培技術の確立	導入を推奨するブドウ品種の栽培技術の確立	22尾張普及・西三河普及	28	32	落葉果樹		
	導入を推奨するナシ品種の栽培技術の確立	28西三河普及	28	32	落葉果樹		
	導入を推奨するモモ品種の栽培技術の確立	20尾張普及	28	32	落葉果樹		
カンキツの効率的施肥技術の確立	屋根かけ樹上完熟栽培「不知火」における施肥管理技術の確立		27	33	常緑果樹		
カンキツの省力・低コスト・高品質生産技術の確立	屋根かけ樹上完熟栽培「不知火」におけるかん水技術の確立		28	33	常緑果樹		
	カンキツ「夕焼け姫」の露地栽培における高品質安定生産技術の確立		28	32	常緑果樹		
	カンキツ「みはや」の高品質安定生産技術の確立	27東三河普及	28	32	常緑果樹		
	カンキツ「あすみ」の高品質安定生産技術の確立		28	32	常緑果樹		

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
果樹栽培における省力化・軽労働化技術の確立	カキ・ナシ等の植調剤利用・仕立て法改善による省力化・軽労働化技術の確立	20豊田加茂・東三河普及、22東三河普及、21,24西三河普及	20	32	落葉果樹		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
イチジクの安定生産技術の確立	イチジクの樹勢に合わせた枝梢管理による安定生産技術の確立	19西三河普及、20東三河普及、21,28経済連	18	32	落葉果樹		

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
高耐久・通気性ポーラスベッドを用いたイチジク隔離ベッド栽培技術の開発	ポーラスベッドによるイチジクの好適な栽培手法の確立		26	28	落葉果樹	大有コンクリート工業(株)	受託(革新的技術創造促進事業(事業化促進))
	株枯病対応隔離ベッドとしての素材評価および対策技術の検証		26	28	病害虫		
	農業生産に適した高耐久・通気性ポーラスベッドの開発		26	28	大有コンクリート工業(株)		
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験		28	28	病害虫防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸		特性調査(県植防、日植調等)
新農薬の登録試験(GLP)	GLP制度が適用される農薬の作物残留試験		28	28	常緑果樹		

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(エ) 研究事項 多様な消費者ニーズに応え産地を強化する果樹品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究 開始年	研究 終了年	担当研究室	共同研究先・ 委託元	事業分類
ナシ品種に求められる市場・消費者ニーズに対応した生産技術の確立	「愛知梨3号」の熟期及び果実重調節技術の開発		28	30	落葉果樹		戦略
	ナシに対する市場ニーズの分布把握		28	28	経営情報		
ブドウ・イチジク・ナシの本県オリジナル品種の育成	ブドウのオリジナル系統の開発	24中央会	19	32	落葉果樹		
	イチジクのオリジナル系統の開発	23東京事務所・西三河普及・豊田加茂普及・27知多普及・中央会・経済連	23	32	落葉果樹		
	ナシのオリジナル品種の開発	25豊田加茂普及	19	32	落葉果樹		
カンキツの優良品種の育成及び選定	ハウス栽培に適したウンシュウミカン品種の開発		17	32	常緑果樹		
	高品質な露地栽培向け中晩生カンキツ品種の開発	17東三河普及、27中央会	12	33	常緑果樹		
	カンキツの品種適応性比較	18知多普及、18, 19東三河普及、21田原普及	16	29	常緑果樹		

【畜産部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営体の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
分娩間隔を短縮させる繁殖改善技術の開発	分娩間隔の短縮に向けた人工授精技術の確立	27, 28畜産課	27	29	養牛		

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
酪農における未利用資源利用による飼料低減技術の確立	未利用木質資源の飼料利用の検討	28畜産課	28	30	養牛		畜振費(県)
あいちブランド「みかわ牛」の生産技術の高度化	あいちブランド「みかわ牛」を合理的に生産する飼養管理技術の確立	24, 26経済連、26畜産課	24	29	養牛		
あいちブランド「みかわ牛」の品質向上技術の開発	あいちブランド「みかわ牛」の標準的な飼料の開発	25, 28経済連 28畜産協会	25	29	養牛	JAあいち経済連	共同(I型)
草地を活用した飼料作物生産技術の実証	トモロコシの二期作栽培技術の実証	27畜産課	27	29	養牛		
泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発		28	32	養牛	農研機構(北)	受託(革新(先導プロ))
超低温保存胚の子宮体部非外科的移植を利用した生産農家への低リスク低コストな高能力種豚導入実証	超低温保存胚の子宮体部非外科的移植を利用した生産農家への低リスク低コストな高能力種豚導入実証		28	30	養豚	家畜改良センター、埼玉県、佐賀県	受託(革新(地域戦略プロ))
飼料の効率的利用による鶏卵肉の低コスト生産技術の開発	有機酸、生菌剤を利用した飼料効率改善技術の開発	28尾張普及	28	31	養鶏		
特産家さんの飼養管理技術	卵用名古屋コーチンにおける実用的な栄養要求量の解明	26, 27畜総セ 28経済連	27	29	養鶏		
	育雛期の飼料用米給与による肉用名古屋コーチンの発育改善	28名古屋コーチン協会	28	31	養鶏		
肉用鶏の生産性向上を可能にする環境制御技術の開発	肉用鶏の生産性向上を可能にする環境制御技術の開発		28	29	養鶏	パナソニックエコシステムズ(株)	共同(II型)
未利用資源飼料化技術の開発	肉用名古屋コーチンにおける未利用資源利用方法の開発	28畜産課	28	31	養鶏		畜振費(県)
生産性の高いウズラ飼養管理技術の確立	ウズラにおけるワクチン接種技術の確立	26東三河普及 28田原普及	28	30	養鶏		
	ウズラにおける飼料用米利用技術の確立	28東三河農政、26, 28東三河普及	28	32	養鶏		
	ウズラにおける実用的な栄養要求量の解明		28	32	養鶏		
	産卵期のウズラ用飼料における魚粉配合量低減化技術の開発		28	32	養鶏	JAあいち経済連	共同

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
牛の効率的種畜増産技術の確立	E T 技術を活用した効率的牛生産技術の確立		28	32	養牛		
	子牛の発育性向上技術の開発		28	30	養牛		

(エ) 研究事項 ICTなど次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
豚人工授精の高度化に関する研究	豚凍結精液利用システムの確立	28畜産課	27	32	養豚		
豚受精卵の利用技術に関する研究	豚受精卵の利用技術の確立	27畜産課・田原普及	28	32	養豚		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
系統豚の飼養管理技術の確立	系統豚を利用した交雑種の飼養管理技術の確立	24経済連・25田原普及	24	28	養豚		
名古屋コーチン品質向上技術の開発と実証	名古屋コーチン品質向上技術の開発と実証		28	30	養鶏	農研機構(畜)、新潟大、徳島県	受託(革新(地域戦略プロ))
名古屋コーチン卵を使用した製菓の物性及び風味特性の解明	名古屋コーチン卵を使用した製菓の物性及び風味特性の解明	26名古屋コーチン協会、26畜総セ	27	28	養鶏	県産業技術センター、菓宗庵	共同(I型)
消費者ニーズに対応した高品質な鶏卵肉生産技術の開発	名古屋コーチン鶏肉の特性の解明		28	32	養鶏		

ウ 重点研究目標 環境に調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
地場産業の食品製造副産物を用いた豚肉生産方法の確立	肉豚における発酵食品副産物の給与技術	28畜産課	28	31	養豚		畜振費(県)
牛舎臭気低減技術の確立	敷料用資材の低級脂肪酸吸着能力の解明		26	28	畜産環境		
	脱臭機能性資材の効果的な利用方法の解明	28畜産課・知多農政課	28	31	畜産環境		
簡易で低コストな畜産汚水中の窒素・リン低減技術の開発	畜産汚水中のNとP低減技術を組み込んだ浄化システムの開発	28知多普及	28	32	畜産環境		
	嫌気発酵消化液中のN・P低減技術の開発	28知多普及	28	31	畜産環境		
産業廃棄物等を利用した良質堆肥生産技術の確立	たまり粕利用による敷料向け良質堆肥生産技術の確立	28豊田加茂普及	28	31	畜産環境		
	未利用植物系資源を活用した堆肥化促進技術の開発	28畜産課・豊田加茂普及	28	32	畜産環境		
家畜ふん尿等の農業残さと小型ガスエンジンを用いたバイオマスイネルギー活用システムの確立	家畜ふん尿等の農業残さと小型ガスエンジンを用いたバイオマスイネルギー活用システムの確立		28	30	畜産環境	アイシン精機(株)	共同(Ⅱ型)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(オ) 研究事項 愛知のブランド力を高める系統豚・名古屋コーチン系統の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
繁殖性に優れた大ヨークシャー種系統豚の開発	繁殖性に優れた大ヨークシャー種の閉鎖群育種による系統造成	22畜産課・26畜総セ・22, 23, 25, 26, 27経済連	22	28	養豚		
種豚優良系統造成事業(産肉性に優れたデュロック種系統豚の開発)	産肉性に優れたデュロック種の閉鎖群育種による系統造成	28畜産課・畜総セ・経済連	28	34	養豚		
肉用名古屋コーチンの改良	増体性に優れた飼育しやすい肉用名古屋コーチンの系統造成	25畜産課、28尾張普及、24, 26, 28名古屋コーチン協会	24	28	養鶏		
卵用名古屋コーチンの改良	卵用名古屋コーチンの卵質改良	26経済連	25	32	養鶏		
	卵用名古屋コーチンの性能調査	25畜産課、26経済連	25	32	養鶏		
	プロラクチン遺伝子の発現制御因子と就巢行動の解明		27	30	養鶏	麻生獣医学園	共同(Ⅰ型)

【茶業部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営体の確立

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
チャにおける総合的病害虫管理技術の確立	散水を利用したチャノミドリヒメヨコバイ管理技術の開発	27園芸農産課	28	32	茶業	農研機構(果茶)	受託(革新(先導プロ))
	散水防除が土着天敵に及ぼす影響の解明				病害虫		
整せん枝及び被覆法の改良によるてん茶の高品質安定生産技術の開発	摘採期拡大のための秋整枝及び最適被覆法の検討		28	32	茶業		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
茶の輸出を拡大するための有機質資材の効率的施用技術の開発	有機質肥料の使用実態調査		28	28	茶業		
	有機栽培における施肥量、深耕及び稲わら施用の影響		28	30	茶業		
	有機栽培における最適施肥割合の検討		28	30	茶業		
食品加工向けに適したてん茶生産技術の開発	優れた葉色のための被覆法、整枝法の検討		28	32	茶業		
	各品種の葉色特性の解明	26園芸農産課	28	32	茶業		
	てん茶の色評価手法の確立		28	30	茶業		

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
有機栽培茶園における主要害虫総合防除技術の確立	チャノミドリヒメヨコバイの防除技術の確立	27園芸農産課	27	29	茶業		戦略
	散水防除が土着天敵に及ぼす影響の解明		27	29	病害虫		戦略
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験		28	28	病害虫防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	県植防	

【環境基盤部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営体の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
大豆多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発(再掲)	有機物施用等による改善技術の開発	28経済連	27	31	環境安全 ・作物 ・水田利用	農研機構(中)	受託(委託プロ)
	多収阻害要因実態調査	28経済連	27	31	作物・ 環境安全 ・水田利用 ・広域指導		

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
園芸作物の安定生産に向けた肥料の開発と施肥技術の確立(再掲)	4～6月収穫キャベツ体系における施肥管理技術の確立	28東三河普及	26	28	野菜(東)	JAあいち経済連	共同(II型)
緑肥の肥効に基づいた施肥管理技術の開発	緑肥を活用した施肥量削減技術の開発	27尾張普及	28	31	野菜(東)		

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
シソのサビダニが引き起こす新規ウイルス病およびさび症からのオオバ防除体系の確立	有効薬剤の探索と被害予測技術の開発		27	29	病害虫	農研機構(中) ・法政大学等	受託(農食事業)
	迅速・簡易診断法の開発		27	29	生物工学		
ウメ輪紋ウイルスの早期根絶を支援する感染拡大リスク回避技術の開発	アブラムシ発生消長ならびにPVP保持特性の解明		27	29	病害虫	農研機構(果茶) ・(中)・(農環)	受託(農食事業)
病害虫の総合的管理技術の開発	果樹病害虫の発生生態解明と防除技術の確立	25尾張普及, 27尾張普及, 28知多普及	28	32	病害虫		
地域特産作物をグループ化して農薬登録するための作物残留値予測手法の開発	農薬残留データベースの構築および解析		27	28	病害虫・ 環境安全・ 病害虫防除	農研機構(農環) ・大阪大学 ・高知県	受託(農食事業)
	農薬残留に関するリスク評価手法の開発		27	28	病害虫・ 環境安全・ 病害虫防除		
病害虫の総合的管理技術の開発(再掲)	非病原性細菌による同属細菌由来病害の抑制に関する研究		27	28	病害虫	静岡大学	共同(I型)
チャにおける総合的病害虫管理技術の確立(再掲)	散水を利用したチャノドリヒメヨコバイ管理技術の開発	27園芸農産課	28	32	茶業	農研機構(果茶)	受託(革新(先導プロ))
	散水防除が土着天敵に及ぼす影響の解明				病害虫		
モモ・ナシの高品質・安定生産を実現する病害防除技術体系の実証研究	モモ・ナシの高品質・安定生産を実現する病害防除技術体系の実証研究	24東三河	28	30	病害虫・ 広域指導	農研機構(果茶)	受託(革新(地域戦略プロ))

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
遺伝子解析技術を利用した品種、病害虫等の識別、診断技術の開発	LAMP法による病害虫診断技術の開発		28	31	生物工学		
有機栽培茶園における主要害虫総合的防除技術の確立(再掲)	茶園における散水防除が土着天敵相及び病害発生に及ぼす影響の解明	27園芸農産課	27	29	病害虫		戦略
病害虫の総合的管理技術の開発(再掲)	野菜・花き病害虫の発生生態解明と防除技術の確立	26, 27, 28中央会, 26知多普及・海部普及	28	32	病害虫		
農薬残留対策総合調査	土壌残留性農薬の後作物に対する影響評価		28	28	環境安全	材料科学技術振興財団	受託(環境省農薬残留対策総合調査)
高耐久・通気性ポーラスベッドを用いたイチジク隔離ベッド栽培技術の開発(再掲)	株枯病対応隔離ベッドとしての素材評価および対策技術の検証		27	29	病害虫	大有コンクリート(株)	受託(革新的技術創造促進)
地域特産物をグループ化して農薬登録するための作物残留予測手法の開発(再掲)	農薬残留に関するリスク評価手法の開発		27	28	病害虫・ 病害虫防除 ・環境安全	農研機構(農環) 全農・高知県 ・大阪大学	受託(農食研究)
肥料取締事業	肥料取締事業		28		環境安全		農改費(県)

農作物有害動物発生予察事業	指定有害動物発生予察事業		28	28	病害虫防除	交付金	
	指定有害動物の発生予察手法の開発と調査		28	28	病害虫		
	ミバエ類等侵入警戒調査		28	28	病害虫防除		
	ブラムボックスウィルスの発生調査		28	28	病害虫防除		
農作物有害動物発生予察事業	マイナー作物の農薬残留分析調査		28	28	病害虫防除	農改費（県）・交付金	
	マイナー作物の防除体系の確立事業	25, 26, 27, 28中央会	28	28	病害虫防除		
農作物有害動物発生予察事業	重要病害虫発生予察事業		28	28	病害虫防除	農改費（県）	
	重要病害虫の発生予察手法の開発と調査		28	28	病害虫		
	農作物有害鳥獣調査		28	28	病害虫		
新農薬の登録試験（再掲）	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	25, 26, 27, 28中央会	28	28	病害虫防除・病害虫・作物・野菜（園）・野菜（東）・花き（園）・花き（東）・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	特性調査（県植防、日植調等）	
新農薬の登録試験（GLP）（再掲）	GLP制度が適用される農薬の作物残留試験		28	28	常緑果樹		
ウイルスを媒介する節足動物を中心とした迅速簡便検査・測定技術の開発	ウイルスを媒介する節足動物を中心とした迅速簡便検査・測定技術の開発		28	30	生物工学	豊橋技術科学大学、(株)テクノサイエンス	受託（NEDO(予定)）

ウ 重点研究目標 環境と調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(ア) 研究事項 環境に配慮した持続的農業技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
家畜ふん堆肥の有効活用技術の開発	家畜ふん堆肥の有効活用による減肥技術の開発		28	32	野菜(東)		
夏まき緑肥作物の利用による窒素溶脱低減と野菜の減肥技術	緑肥作物を活用した露地野菜畑における窒素負荷低減技術の開発		27	31	野菜(東)・広域指導		受託（委託プロ）
可給態窒素の迅速診断に基づく窒素施肥の適正管理	野菜畑における可給態窒素の評価に基づく施肥技術の開発		27	32	環境安全・野菜(東)・広域指導		受託（委託プロ）
肥料成分の土壌中での動態解明に基づく土壌管理技術の開発	野菜畑におけるリンとカリウムの土壌中での動態解明	26経済連	26	30	環境安全		
	水田における長期肥料試験		26	30	環境安全・水田利用		
肥料成分の土壌中での動態解明に基づく土壌管理技術の開発（再掲）	水稲生産性向上のための愛知県内土壌の実態把握と土壌改良資材効果の実証に基づく施肥改善方針の確立		28	30	環境安全	JAあいち経済連	共同（I型）
農業生産に起因する環境負荷の軽減と修復技術の開発	化学物質の環境中の動態解析と負荷低減技術の開発		25	29	環境安全		
病害虫の総合的管理技術の開発（再掲）	果樹病害虫の発生生態解明と防除技術の確立		28	32	病害虫		
LED光源の試作	ほ場における誘引データ収集及び誘引性能評価		27	29	病害虫	農研機構(中)・光産業創成大等	受託（農水省）
農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査事業	一酸化二窒素排出削減のための農地管理技術検証		25	28	環境安全・野菜（東）	新潟県	受託（農地土壌炭素貯留等基礎調査事業）
	農地管理実態調査		25	28	環境安全		補助（農地土壌炭素貯留等基礎調査事業）
有機物の肥効評価に基づく施肥技術の確立	有機質資材の窒素発現量の評価	25農業経営課・経済連	26	28	環境安全		
焼成汚泥ケイ酸リン肥の水田における利用技術の開発	焼成汚泥ケイ酸リン肥の水田における利用技術の開発		28	28	環境安全	太平洋セメント(株)	共同（II型）
病害虫の総合的管理技術の開発（再掲）	普通作物病害虫の発生生態解明と防除技術の確立		28	32	病害虫		
	野菜・花き病害虫の発生生態解明と防除技術の確立	25西三河普及	28	32	病害虫		
	果樹病害虫の発生生態解明と防除技術の確立		28	32	病害虫		

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
水田生態系におけるカエル類の生息環境を回復する技術の開発	カエル類の生態特性の解明と排水路転落対策の検討	28豊田加茂農林建設・28農地整備課	27	29	環境安全・農業工学		土改費(県)
水田の機能強化技術の開発	水田の畦畔からの漏水防止技術の開発	28農地計画課	28	31	農業工学		
農村地域における小水力発電システムの現地適応技術の開発	農業水利施設に利用可能な小水力発電システムの開発	24, 25農地計画課・25農地整備課	24	29	農業工学		土改費(県)
	開放型小水力発電装置の開発		27	29	農業工学	㈱篠田製作所	共同(I型)
	小水力発電など代替エネルギーの農業利用技術の開発	25農地計画課・25農地整備課	25	29	農業工学・園芸		土改費(県)
ため池改修発生土の有効利用調査	ため池浚渫土の改良に関する実態の解明	23農地整備課	22	28	農業工学		農防費(県)
土地改良計画調査(統制調査)	新規需要米栽培における水需用実態の把握	24農地計画課	24	28	農業工学		土改費(県)
農業水域における栄養塩流出実態と浄化機能の解明	窒素動態の実態を反映した新たな窒素負荷指標の開発		28	30	野菜(東)・環境安全	農研機構(農環)	受託(農食研究)

(ウ) 研究事項 中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
鳥獣の種類と行動に対応した安全で効率的な罠および追い出し機の開発	くくり罠の開発		27	29	病害虫・広域指導	アイスチール(株), (株)ネットワークSAKURA, 北原電牧, 三重大学, IT工房Z	共同(I型)
	画像処理技術を用いた自動捕獲システムの開発		27	29	病害虫・広域指導		
	侵入防止施設の開発		27	29	病害虫・広域指導		
	カラス追い払い機および捕獲器の開発	28新城設楽普及	27	29	病害虫・広域指導		
融着繊維を利用した農地への野生動物侵入防止柵の開発	熱融着ネットの設計および試作	28東三河普及・中央会	27	28	病害虫・広域指導	トヨネン(株)・アイスチール(株)・三河繊維技術センター	共同(I型)
	侵入防止効果の実証	28東三河普及・中央会	27	28	病害虫・広域指導		
農総試で開発した捕獲罠の利用促進を目的とした獣肉の品質評価	捕獲方法別の捕獲・解体・精肉		27	29	病害虫・広域指導	中部大・三河猪家	共同(I型)
	獣肉の分析および食味評価		27	29	病害虫・広域指導		
	捕獲法及び殺法の改良		27	29	病害虫・広域指導		

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への開発

(ア) 研究事項 競争力の高い水田農業を確立する水稻・小麦品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
耐病水性水稻品種・育種素材の開発(再掲)	斑点米カメムシによる被害を軽減できる育種素材の開発		27	31	作物・稲作・生物工学	農研機構(次作)	受託(委託プロ)
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出	水稻の高温耐性マーカーの開発		28	31	生物工学		
中食用水稻早生品種の開発(再掲)	中食用水稻早生品種の育成		27	31	作物・生物工学	JAあいち経済連	共同(II型)
	栽培法の確立と現地実証		30	31	作物		
	炊飯・加工適性評価		30	31	作物		
新たな実需ニーズに応える寒冷地・多雪地向け新需要大麦品種等の育成と普及	大麦土壌伝染性ウイルス抵抗性検定		26	30	生物工学	長野県・農研機構(中)・(東)・(次作)	受託(農食研究)

(イ) 研究事項 全国屈指の施設野菜産地を活性化する品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出(再掲)	トマトの高温耐性DNAマーカーの開発		28	31	生物工学		
新規に開発するDNAマーカーと感染性クローンによるTYLCV簡易接種法を利用した複合抵抗性トマト系統の開発(再掲)	感染性クローンを利用したTYLCV簡易接種法による抵抗性の評価	25, 26, 27中央会, 27尾張普及	28	30	生物工学・野菜(園)		戦略
	新規病害抵抗性DNAマーカーの開発		28	30	生物工学		
	新規開発技術を利用した複合病害抵抗性を持つ単為結果性トマト系統の開発		28	30	野菜(園)・生物工学		

(ウ) 研究事項 日本一の花き産地を支える品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
キク矮化病抵抗性を有するスプレーギク新品種の開発(再掲)	交配による抵抗性系統の作出		28	32	花き(東)	イノチオ精興園(株)	共同(Ⅱ型)
	新系統の有用性評価及び選抜		28	32	花き(園) ・生物学 ・花き(東)		

(エ) 研究事項 多様な消費者ニーズに応え産地を強化する果樹品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出(再掲)	イチジク雌雄性判別DNAマーカーの開発		29	31	生物学		
	イオンビーム照射によるカンキツのトゲ無し系統の作出		28	28	生物学		

【企画経営部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営体の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
技術革新の成果等を導入した新たな経営モデルの作成	複合経営モデルの現地実証試験		28	29	経営情報		

(エ) 研究事項 次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
技術革新の成果等を導入した新たな経営モデルの作成(再掲)	ICTや自動化等の次世代技術導入事例収集と調査		28	29	経営情報		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
キクの需要創出に向けた新規花形ギクの栽培技術の確立(再掲)	新規花形ギクの流通や消費者への認知向上		28	30	経営情報		戦略
ナシ品種に求められる市場・消費者ニーズに対応した生産技術の確立(再掲)	ナシに対する市場ニーズの分布把握		28	30	経営情報		戦略
多収性新品種の導入による実需者と結びつけた産地形成	水稲早生熟期有望品種の選定		26	28	広域指導	JAあいち経済連	受託(産地活性化)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(ア) 研究事項 競争力の高い水田農業を確立する水稻・小麦品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
アミロペクチン短鎖化でおいしさが持続する画期的な業務・加工向け多収水稻品種の開発(再掲)	現地実証と栽培マニュアル作成		28	30	稲作、作物、広域指導、経営情報	農研機構(次作)、(北)、名古屋大学、福岡農林試、ローソン(株)、敷島製パン(株)、関谷醸造(株)、JAあいち経済連	(受託)(農食研究)(中核・愛知農総試)

(ウ) 研究事項 日本一の花き産地を支える品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
良日持ち性および萎凋細菌病抵抗性を有するカーネーション品種の開発(再掲)	良日持ち性品種の開発		26	30	花き(園)、経営情報	北海道・農研機構(野花)	受託(農食研究)